

第10回記念 茨城大学 学生サステナ・フォーラム

- 場所** 茨城大学水戸キャンパス(水戸市文京2-1-1)
理学部K棟1Fインタビュースタジオ/アクティブラーニング・スペース
- 日時** 2017年3月14日(火) 13:00~17:00 (12:30開場)
- 対象** 企業・自治体、サステナビリティに関心のある地域の方、高校生、
教職員、学生

スケジュール

入場無料
申込不要

13:00 開会あいさつ(太田寛行/茨城大学副学長)

特別講演「命の授業—お産の現場を見つめて」

講師 秋山智代 (助産師)

コメンテーター 平澤文子

(地域知求人ネットワーク/NPO環~WA)

司会

伊藤哲司

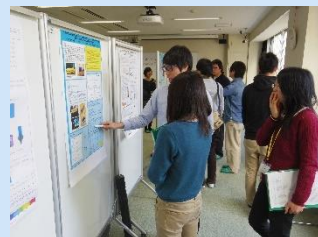
(茨城大学ICAS機関長)

14:30 学生ポスターセッション&意見交換会

学生のサステナビリティに関する研究・活動発表と、
ご来場の皆様、学生たちとで懇談・交流を行います。

16:40 表彰式

16:50 閉会あいさつ(伊藤哲司/茨城大学ICAS機関長)



【趣旨】

21世紀を生きる私たちは、サステナビリティ(持続可能性)を脅かす環境やエネルギーなどの諸問題に直面しています。それらに対処するために、様々な分野にまたがった学問領域間の協力だけでなく、地域・企業・自治体との連携も求められています。

サステナビリティ学には、そのベースに「命」の問題が常に存在しています。「命」の持続性を考えないサステナビリティ学は成り立ちません。今回は「お産」という、私たちの「命」とサステナブルな循環について見つめなおす現場を見つめる講演会と、本学の学生が行っている気候変動、持続可能な農法、コミュニティ形成など様々な分野の研究・活動を一堂に会して発表しあう「学生ポスターセッション&意見交換会」を企画しました。

今後の持続可能性のためのヒントを得る交流の場へ、生命の誕生やサステナビリティ、学生との意見交換に興味をお持ちの方々の参加をお待ちしております。

【お問い合わせ先】

茨城大学地球変動適応科学研究機関(ICAS)事務局: 029-228-8787 e-mail: icas@ml.ibaraki.ac.jp

特別講演「命の授業—お産の現場を見つめて」

講師の紹介

秋山智代氏 助産師。IBCLC(国際認定ラクテーション・コンサルタント)。総合病院産婦人科病棟勤務の後、自身の自宅出産の経験を経て出張助産師として助産所あおぞらを常陸太田市に開設。自宅出産、母乳育児支援、性教育講演、赤ちゃん訪問などの活動をしている。

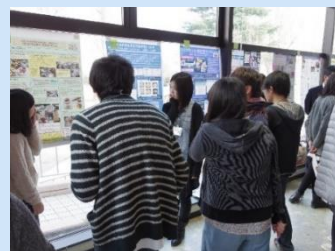


学生ポスターセッションとは

学生が、理系・文系を問わずそれぞれの研究・活動を基にポスターを作成し、見本市のように展示します。学生と、企業・自治体・地域の方を交えた意見交換の場も作ります。

【前回のポスター発表例】

- 「タヌキのロードキルと周辺のランドスケープの関係性」
- 「地域振興における漁協女性部の役割」
- 「住民参画の地域劇場ホールづくりが住民の態度構造に与える影響」
- 「カバークroppと耕耘方法がダイズへの放射性セシウムの移行に及ぼす影響」
- 「三宅島初成土壌における土壌層位別の微生物群集構造解析」
- 「涸沼のヤマトシジミから持続可能な水環境を考える」
- 「フナフチ環礁における水質汚濁機構の再現」
- 「ホヤのRH式血液型遺伝子の解析」
- 「EOS-Terra/ASTER を用いたマングローブ域抽出に関する研究」
- 「中性子回折によるパウシンガー効果の検討」
- 「のらボーイ&のらガールの食農教育プロジェクト」
- 「タイ国際実践教育演習~廃棄物班の活動~」…など55件



【交通アクセス】 お越しの際は、公共交通機関をご利用ください。JR水戸駅(北口)バスターミナル7番乗り場から茨城交通バス「茨大行」に乗車「茨大前」で下車してください。

茨城大学理学部K棟1F
インタビュースタジオ
アクティブラーニング・スペース

